

米本陣・佐渡吟行

中野区

小田切松枝（北城町出身）



妙宣寺



小田切さん

豪農邸 すでに冬めく 昼灯あかり

米本陣を すべり落ちたる 秋灯

蟬螂の 天地逆しま 玻璃はりに攀よつ

たわいなき 話のふくる 秋の夜

秋の夜の 母の空事そら 旅枕

はからずも 佐渡にかしこむ 冬立つ日

吟遊ぎんゆうす 大佐渡小佐渡 大花野

仁王尊の 色の剥落はくらく 夕紅葉もみじ

石路つわの花 屋根に石置く 島の路地

身しに入むや 御火葬跡ごの 暗き径みち

おけさ柿 吊るす日だまり 猫だまり

空稻架からの出番や 佐渡の大根干し

柿干して 遠流おんるの島を 語り継ぐ

崎端さきはしに 立てば海より 冬の声

海より出づ 海に沈みぬ 冬落暉らつき

かぶりつく 齒おうなを持つ老女 冬林檎



大佐渡に沈む夕日



佐渡の民宿での宴会